

令和2年度 府立加悦谷高等学校・宮津天橋高等学校加悦谷学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成</p> <p>2 伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成</p> <p>3 豊かで幸せな人生を送ることができるよう主体的に学び続ける人材の育成</p>	<p>【成果】</p> <p>1 丁寧な面談ときめ細かな指導により、3年生の就職希望者は早期に100%内定した。進学希望者には徹底した進路検討会により、良好な入試結果に繋がった。また、学習合宿、進学講習を充実させ、学習習慣の確立に繋がった。</p> <p>2 陸上競技部、ウエイトリフティング部、書道部の全国大会での活躍など、昨年度以上に活気を帯びた。また、この成果が他の部活動にも好影響を与えた。</p> <p>3 京都フロンティア校の取組、文化歴史推進校の取組、オリンピックパラリンピック教育、地域開放型スポーツクラブジラソーレの取組、地域イベントへの出演、出前授業、小中学校への学習支援、福祉施設ボランティアなど、地域貢献活動をおして生徒が人間的に大きく成長した。また、これらの取組が地域・保護者から高く評価された。</p> <p>4 学校評価アンケートでは「本校に入学して良かった」と回答した生徒が80%おり「本校に子どもを入学させて良かった」と回答した保護者が87%と本校の教育に高い満足度がある。また、87%の生徒が「希望進路達成のために十分な取組を行っている」と回答しており、多くの生徒が丁寧な進路指導をしている学校であると認識している。</p> <p>5 学舎制に伴う連携会議を充実させ学舎制の準備を着実に進めた。また、新たに配置された高校魅力化コーディネーターを活用し与謝野町との連携を深めた。</p> <p>【課題】</p> <p>1 学力向上対策の強化</p> <p>2 探究活動をおした問題解決能力の伸長</p> <p>3 規範意識の醸成</p> <p>4 部活動加入率の増加</p> <p>5 地域貢献の取組による地域理解の深化</p> <p>6 広報のさらなる強化</p> <p>7 学舎制の充実と魅力ある学校づくり</p>	<p>1 学力向上 一人一人にきめ細かな指導を展開し、基礎学力及び発展的な学力を身につけさせるとともに、探究的な学習をおして、主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p> <p>2 学校行事・部活動の充実 メリハリのある教育を展開し、平日の放課後を有効に活用させる。生徒会活動や部活動など自主活動の一層の充実を図る。</p> <p>3 ボランティア・地域貢献 ボランティア活動を積極的に行うとともに、「出前授業」「きもの着付け教室」など小・中学校、地域社会、PTAと連携した取組を充実させ、地域社会に貢献し信頼される学校を目指す。</p> <p>4 広報の充実・入学希望者の増加 本校の取組をHP、ニューズレター、学校公開など、あらゆる機会を活用して発信し、入学希望者の増加につなげる。</p> <p>5 魅力的な教育内容の実践 宮津天橋高校学舎制のスタートにより、遠隔教育システムの導入や部活動の効果的な運用とともに、入学した生徒が広い視野を持ちながら大きく成長でき、学校と地域社会がともに発展する魅力的な教育活動を行う。</p>

評価領域	項目（重点目標）	具体的方策	評価			成果と課題
組織・運営	学校の特色化	地域の活性化に貢献する事業を展開し、地域理解を深めるとともに地域社会とともに成長する生徒を育てる。また、加悦高魅力化コーディネーターを活用しながら地域との連携を一層図り、丹後地域から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。				
		授業規律を確保するとともに、学習合宿、進学講習、就職講座を充実させ、高いレベルでの学力保障及び部活動の充実を推進する。				
		広報誌（ニューズレター）・公式ホームページ・学校説明会などを通じて本校の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。				
	指導体制の強化	保護者や生徒との面談を充実させ、一人一人を大切に丁寧な指導体制を構築する。また、安心・安全な学校を維持するため、いじめ等の問題事象の早期発見、早期対応に努める。				
	学舎制を踏まえた学校体制の構築	学舎制に向けた教職員の共通認識の醸成を図るとともに参画意識を高揚させることで魅力ある学舎制の構築に繋げる。また、加悦谷高校（学舎）の魅力や強みを検証するとともに、宮津学舎と連携しながら魅力ある教育活動を実現する。				
学習指導 ・ 進路指導	学力向上	学校評価アンケートや授業アンケート等を分析し、授業改善を積極的に推進する。また、ICT教育、遠隔教育の研究を一層進めるとともに教育内容を充実させ、生徒たちに理解が深まることの喜びを実感させる。				
		週末課題・ノート点検等を充実させることにより学習に対するモチベーションを向上させ、家庭学習の習慣化を進める。				
	希望進路の実現	生徒一人一人に対する進路検討会や個別面談、放課後の補講、長期休業中の学習合宿等を充実させ、丁寧な指導を実施する。				
生徒指導 ・ 部活動	規範意識の向上	制服の着こなし、頭髪や身だしなみをはじめマナーの重要性を理解させ、問題行動の未然防止に努める。				
	自主活動の活性化	全国大会や近畿大会など上位の大会に出場する選手を育成し、学校全体で応援するような温かい学校にする。また、部活動加入率の増加を目指す。				
環境整備 ・ 相談	教育環境の整備	校内清掃や美化点検を徹底することで学習環境としてふさわしい空間を維持する。				
	教育相談	外部関係機関や保護者との連携を図りながら、支援を要する生徒に対し、迅速できめ細かい手立てを行う。				

学校関係者評	
--------	--

方 向 性	
-------	--